



金武町議会報

きんてん

第143号

発行：平成27年12月1日

均 霈



タームの収穫

主な内容

一般質問..... 2～14 P

仲間政治／崎浜秀幸／仲間昌信／安富信武／安富朝広／外間慎仁
松田義政／池原政文／大城政光／大城一之／吉野 潤／嘉数義光
伊芸政男

第5回（9月）定例会附議案件処理結果 15 P

金武町移民の日を定める条例の制定について 16 P

金武町公式ホームページ <http://www.town.kin.okinawa.jp>

平成27年第5回 定例会

一般質問

(※質問順に掲載し、質問・答弁は要約)



仲間 政治 議員

北部3地域の

活性化の議論

防衛省との意見交換会の
呼び掛け人は町 長
町村側から提案を
行った

仲間議員

本島の東海岸に面する金武町・宜野座村・東村と防衛省との意見交換会が報じられているが、その呼び掛け人について何う。また、その内容は。

仲間一町長

本島の東海岸

地域に鉄道を整備することにより、住民生活の利便性の向上や定住促進が見込まれることから、平成26年8月に宜野座村長と連名で沖縄県知事に鉄道の整備における東ルート計画を組み入れていただきたい旨、要請している。このような経緯もあり、北部市町村会の懇親会の中で、東村長も北部の東海岸地域の活性化に関心を示され、行動を共にすることとなった。沖縄防衛局との意見交換の内容は、金武町からは再編交付金の延長及び算定の見直し、ごみ焼却施設整備及び最終処分場施設整備、ギンバル訓練場跡地開発など、いくつかの課題を挙げ、今後の実現に向けて話し合いを

行った。

仲間議員 米軍基地再編で

北部に基地負担が集中しているが、町長は基地リンク論を認め、民意に反する行為をとるつもりか。

町 長 基地と振興策はリ

ンクするものではないと認識している。基地所在市町村として、基地があるが故の閉塞感や地域活性化に支障を来している以上、要請行動をしながら地域の活性化を求めることは当然の権利だと認識している。

ギン原跡利用

地域医療施設開設に

向けた進捗は

町 長 開業に向けて定款の
変更を行っている

仲間議員

地域医療施設開設に向けた進捗状況を伺う。

町 長 7月の臨時会での議決を経て、協定書を締結している。8月に医療法人

りようしゅうかい

社団菱秀会より提出された使用許可申請に基づき、町は使用開始日を9月15日として使用許可を出している。現在、開業に向けて広域医療法人の定款変更の手続きを進めている。

仲間議員 ホテル建設とリ

ンクする海岸線のビーチ設置の法的手続きはクリアされているか伺う。

町 長 沖縄県が行う海岸

整備として、現在、海岸調査設計業務と海岸環境調査業務を実施している。今後、海岸法に基づく海岸保全区域指定などの法的な手続きが必要であり、県とギンバル海岸（仮称）海岸整備事務連絡協議会を設置しており、その中で進める。

漁業の現状

町が実施した補助の

成果は

町 長 生産機具の補助は、
漁家個々の水揚げに
活用されている

仲間議員

町は漁協の環境整備や個人への漁具等の補助を実施してきたが、その成果は。また、町が所有している爬りゅう舟の今後の活用は。

町 長

平成10年度の漁獲高1億8519万円をピークに26年度は4564万円と低迷している。組合へGPSプロッターなどの生産機具補助を行っており、漁家個々の水揚げに活用されている。24年度に購入したサバニ3隻は、サバニ体験学習やハーリー大会等で年間3回から4回程度活用されている。



米軍基地事故時の
住民避難

崎 浜 秀 幸 議員

避難マニュアルの作成は

町 長

今後、作成に取組む

崎浜議員

8月12日、うる

ま市沖で米軍ヘリの墜落事故が発生した。本町においてもこのような事故がいつ発生してもおかしくない状況にあると思う。万が一、米軍施設内で爆発や化学物質の流出事故が発生し、施設外に影響が出た場合の対応について、住民の避難マニュアルを作成し、安全に備える必要があると思うが。

仲間一町長

基地災害の発

生に伴う情報収集、町民への情報伝達、避難勧告又は避難指示などは、台風や津波など金武町地域防災計画の自然災害の想定に準じて行うこととしている。町民を災害から守る体制を整えているが、今後は米軍基地内での事故を想定した避難

マニュアルの作成に取組む。

崎浜議員

8月24日には神

奈川県相模原市の米軍施設で爆発事故が発生し、地元の消防が消火活動を行うまでに発生から5時間以上経過していた。米軍の排他的管理権が障害となっているため、日米地位協定の改定を求めるべきと考えるが。

町 長

今年の2月に県知

事と上京した際、地位協定の改定について要請を行った。今後もし事と行動を共にできるものは、取組む。

町内生徒の学力向上

学力・学習状況調査の

結果は

教育長

小学校では国語・理科、中学校では数学・理科に課題がある

崎浜議員

今年4月に実施

した全国学力・学習状況調査の結果が公表され、小学校では全国20位に上昇した。中学校では最下位ながら、全国平均との差は改善されている。町内の小・中学校の学力・学習状況調査の結果を伺う。

比嘉貴一教育長

(学力・

学習状況調査の結果は下表のとおり) 全国・沖縄県と比較すると小学校では国語A問題と理科問題に課題があり、学校間の格差もある。中学校では数学Bと理科問題に課題がある。その要因については、教育委員会及び各学校において分析を

行っており、分析結果を学力向上につなげたいと考える。

崎浜議員

これまで学力向

上対策を行ってきたが、今回の結果を受けて、その取り組みがどの程度達成されているか。

知念久学校教育課長

前年

度と比較し、正答率の向上が見られるが、目標とする全国平均との差がまだあるので、今後も一層の対策に取組む。

平成27年度全国学力・学習状況調査平均正答率

小学校	全国	沖縄県	金武町	中学校	全国	沖縄県	金武町
国語A	70.0%	69.3%	60.7%	国語A	75.8%	70.0%	59.8%
国語B	65.4%	67.3%	63.4%	国語B	65.8%	61.3%	49.2%
算数A	75.2%	77.7%	71.2%	数学A	64.4%	55.8%	44.4%
算数B	45.0%	44.7%	38.7%	数学B	41.6%	34.0%	25.7%
理 科	60.8%	59.0%	49.3%	理 科	53.0%	45.9%	36.1%

ギンバル開発事業

約6000万円の税収を見

込んでいたようであるが

町 長

住民税約5500万円などを見込んでい

崎浜議員

基地経済からの

脱却を図り、自立経済を目指すとしてギンバル開発を進め、法人税や住民税など約6000万円の税収を見込んでいたようであるが、現時点の見通しは。

町 長

800人の雇用創

出を見込み、住民税が約5500万円、法人税が1社分で約300万円を見込んでいる。入湯税は一人一日150円が標準であり、詳細については、今後の温泉施設整備基本計画により検討を行う。

マイナンバー制度



仲間昌信 議員

マイナンバー制度の概要は

町 長 国民一人ひとりに12桁の番号を指定し、個人情報等を効率的に管理を行う

仲間議員 平成28年1月から開始されるマイナンバー制度の概要を伺う。

仲間一町長 マイナンバー制度は住民票を有する全ての国民に対し、12桁の番号を指定し、社会保障、税、災害対策の分野で保有する個人情報とマイナンバーを関連づけて効率的に情報の管理を行い、更にマイナンバーを活用して同一の者に対する個人情報を他の機関との間で迅速かつ確実に情報の連携をする制度である。

町 長 個人番号については、10月5日から紙製の通知カードを簡易書留により郵送され、法人番号については10月22日以降、国税庁から書面により各事業所へ通知される予定である。

仲間議員 交付を受ける者が負担する費用はあるか。

町 長 通知カード及び個人番号カードの交付に係る費用は国の負担となるが、再交付の場合はその理由により個人負担となる場合がある。

仲間議員 政府は個人や法人の預金口座とマイナンバーカードを結びつけることを考えているようであるが、地方自治体も把握することができるか。

町 長 預金口座とマイナ

ンバーを結びつけるマイナンバー法の改正案が国会で可決された。マイナンバーによる情報連携については、その利用範囲が法律で厳密に定められているが、預金口座の情報連携についてどのような規定になるか、具体的な情報がないのが現状である。

仲間議員 サイバー攻撃等による個人情報の流出に対するセキュリティ対策及び被害の救済措置を伺う。

町 長 個人情報の管理については、役場内でのみ接続されているネットワーク内で運用しており、外部との接続は遮断されている。インターネットに接続されている端末については、町独自でもウイルス対策ソフトを導入するなどの対策を講じている。

温泉センター

温泉センターは公設公営か
民設民営か

町 長 温泉施設整備推進チームで計画策定を行う

仲間議員 ギンバル訓練場跡地に温泉の原水が湧出した。整備を計画している温泉センターの運営は公設公営か、民設民営か。

町 長 現在、温泉施設整備に関する調査研究、運営形態等を踏まえた計画策定を行うため、関係課を主体とした金武町温泉施設整備推進チームを発足し、取組みをスタートしている。

仲間議員 役場関係者のみの推進チームで検討が可能なのか。外部から専門家なども招聘して推進するべきではないか。

安富祖昇企画課長 関係課を主体とした金武町温泉施設整備推進チームでは、公設公営や民設民営等の運営方針までを検討し、その後においては、町民や専門家も加えて、温泉の運営について検討を進めたいと考えている。

町 長 ホテル整備を行うトロピカーナ・ランド・デベロップメント社（マレーシアの不動産開発企業）の温泉活用については、覚書にて利用可能となっており、詳細については今後の温泉施設整備基本計画により検討を行う。

仲間議員 ホテル事業との関係は調整されているか。

ギンバル跡地開発



安 富 信 武 議員

ホテル建設の進捗状況は

町 長 海岸整備事業の動向に合わせ、ホテル建設の実施設計に入る

安富議員 ホテル等の建設

について、平成26年から27年の進捗状況を伺う。

仲間一町長 ホテル等の建設

については、平成26年度に基本設計及び造成工事が完了している。今後、海岸整備事業の動向に合わせ、ホテル建設の実施設計に入ることを確認している。

安富議員 護岸整備、岩礁破碎、砂浜の整備等について

て、沖縄県への申請手続きの進捗状況を伺う。

町 長 沖縄県が行う海岸

整備として、現在、海岸調査設計業務と海岸環境調査業務が実施されている。今後、海岸法に基づく海岸保全区域指定などの法的な手続きがあり、県とギンバル海岸（仮称）海岸整備事務連絡協議会を設置し、その中で協議を進める。

安富議員 海岸周辺の道路等の整備予定を伺う。

町 長 海岸周辺等の整備

は、6月定例会において町道中川36号線として路線の認定を受けている。その町道及び海浜公園の設計を実施するため、県の海岸整備事業と連携しながら取組みを行っているところである。

安富議員 温泉の活用につ

いて、公設公営等の運営形態やホテル等への原水供給、町民へのサービスの考え方、温泉センターの運用開始時

期について伺う。

町 長 温泉整備に関する

調査研究、運営形態等を踏まえた計画策定を行うため、関係課を主体とした金武町温泉施設整備推進チームを発足し、取組みをスタートしている。ホテル整備を行うトロピカーナ・ランド・デベロップメント社（マレーシアの不動産開発企業）の温泉活用については、覚書にて利用可能となっており、詳細については今後の温泉施設整備基本計画により検討を行う。なお、温泉施設が整備されるまでの間、既存施設等を活用し、町民へのサービスができるよう取組みを行う。

東日本大震災の義援金

ひろのちよう

岩手県洋野町への義援金

の内訳は

町 長

町や金武区、金武区子ども会などから合計226万円余りである

安富議員 岩手県洋野町への義援金の内訳について伺う。

町 長 岩手県洋野町への

義援金は、町から150万円、金武区から50万円、金武区子ども会から18万6724円、金武区子ども会洋野町交流団から6万円、金武区に集まった募金2万2024円の合計226万738円である。

安富議員 洋野町の現在の

復興状況をどのように確認しているか。

町 長 震災の翌年に洋野

町交流団が本町を訪れ、金武町まつりにおいて団長で

ある洋野町教育長から義援金に対する感謝状と復興状況の報告を受けている。また、洋野町から毎月発行される広報誌やホームページなどから、被害のあった八木地区沿岸部の復興状況の情報を得ている。

安富議員 町は今後、洋野

町とどのように関わっていく考えか。

町 長 洋野町との交流に

ついては、金武区子ども会が平成12年度から交流事業を行っており、隔年での交流団相互派遣を行い、洋野町からは計10回で延べ178名が、金武町からは計6回で延べ114名が参加している。特産品の交流については、平成24年度から洋野町種市夏まつり（たねいち）においてマンゴーのPRを行っている。今後子ども会の交流活動の支援等を行う。

役場庁舎の増改築



安富朝広 議員

庁舎増改築の進捗状況は

町 長

保留中である

安富議員

町はこれまで、機構改革に伴い庁舎の増改築とあわせて、駐車場整備計画を進めてきたが、庁舎増改築の進捗状況について伺う。

仲間一町長

庁舎の増築については當山記念館の保存、活用に伴う計画変更等で計画見直しが生じ、庁舎増築に関しては、保留中である。

安富議員 現庁舎は、全職員の仕事スペース配分は十

分か。また、来庁する町民の駐車スペースは十分確保されているか。

町 長

現庁舎の作業スペースは、機構改革検討委員会において、子ども支援課、上下水道課を設置する方向で協議しており、また、保健福祉課、農業委員会等の庁舎が分散している状況がある。来客者駐車場については、1月から3月の税の申告手続きや保険証切り替え手続き等がある際には、込み合う状況である。

安富議員

庁舎増改築に伴う予算は、既に議会で可決されているが。

町 長

庁舎増改築工事の予算については、平成24年6月定例会において債務負担行為4億950万円が計上されている。しかしながら、當山記念館の保存、活用に伴う計画変更等で計画見直しが生じ、庁舎増築に関しては、保留中であり、

執行できていない。

安富議員

當山記念館の保存と庁舎増改築を一体的に考える必要はないと考えるが。

上原浩総務課長

当初の庁舎増築計画をしていたものが、當山記念館を保存させることが決定したことにより、当初の計画していた広さの8割程度しか確保ができない状況である。縮小したスペースでは、分散されている課が配置できないことから、現在検討中であり保留としている。

安富議員

機構改革は町長の政策にもあるので進めるべきと考える。早めに進める考えはあるか。

総務課長

庁舎増築と機構改革は一体であると考えている。いろいろな課をどのように配置すれば住民サービスがスムーズに行えるかということ念頭に置いて機構改革に取組みたい。その後

増築スペースや来客駐車場の配置も検討したい。

街灯について

LEDへの改修促進は

町 長

LEDタイプに改修することで、維持管理費等の低減を図る

安富議員

町に設置されている街灯は、いつ設置されたか。また設置の工事費はいくらか。

町 長

島田懇談会事業で設置したメタルハライドタイプを平成11年度に5億7897万円をかけて1366基、17年度に1億6531万8000円をかけて153基、18年度に8752万2000円をかけて81基を設置している。LEDタイプの街灯は24年度に2226万円をかけて新開地区の230基を改修し、25年度にギンバル地区に1747万をかけ80基を設

置。総工費は9億5024万5000円となっている。新規設置は町内全域を対象に、毎年8基設置している。

安富議員

今後、LEDへ改修することで、防犯機能の充実が図れると思うが。

町 長

現在、町の街灯が1786基あり、そのうちメタルハライドタイプが75%、LEDタイプが25%である。今後LEDタイプに改修することで年間の維持管理費を低減するとともに、安全安心な町につなげることで防犯効果が図られると考える。



外間 慎 仁 議員

商店街及び社交街の 活性化

空き店舗対策事業の実績は

町 長
平成21年度から33店
舗が開業し、うち2
店舗が閉店

外間議員

昨今、時代とともに環境が変化し、郊外型のショッピングセンターや大手チェーン店の出店に伴い、消費者の生活スタイルが変わり、それとともにニーズや購買行動も変化している。本町の空き店舗対策事業の実績と今後の取組みについて伺う。

仲間一町長 空き店舗対策事業については、地域内商

工業の活性化に寄与することを目的に、町商工会への補助をとおして平成21年度から実施し、33店舗が開業しており、そのうち2店舗が閉店している。今後は商工会や社交業飲食業組合と連携し、補助額と対象エリア等の検討を行いながら実施する。

外間議員

プレミアム商品券の実績と今後の取組みについて伺う。

町 長
平成23年度から25

年度まで5000万円、26年度に1億円のプレミアム付き商品券を販売している。27年度には1億円のプレミアム付き商品券と、低所得者等生活支援事業による総額1113万円分、一人あたり30000円の商品券を3,710名に配布している。

水のまちづくり

金武ダムの水を活用した
憩いの場づくりは

町 長
憩いの場づくりに向
け、北部ダム統合管
理事務所と連携して
取組む

外間議員

水をテーマにした町づくりについて、金武ダムの水を活用した町民の憩いの場、広場づくりに取組む考えはあるか。

町 長
金武ダムは水道用

水や農業用水の確保、洪水調節等、様々な役割を担う多目的ダムとして供用されている。ダムの水を活用した町民の憩いの場、広場づくりについては、周辺に整備された多目的広場やせせらぎ広場などに桜の植樹等を実施し、町民のみならず訪れる人々の憩いの場となるよう、北部ダム統合管理事務所と連携して取組む。

外間議員

水源基金の活用と今後の取組みは。

町 長
平成28年2月に開

催予定の金武ダムまつりへの活用や地域活性化につながる取組みや事業等に活用したいと考えている。

外間議員

水源地域ビジョンの取組みを伺う。

町 長
水源地域ビジョン

は、「自然体験学習・健康レクリエーション」「ホールの活用」「交流イベントの推進」「町民参加による身近なダム環境づくり」の4つがあり、それぞれの分野で取組みを行っている。2月に開催予定の金武ダムまつりにおいては湖面の活用や敷地内への植樹、ダム施設内の見学会を実施予定である。メニューによっては実施されていない事業等もあることから、町、北部ダム事務所、沖縄県、地域住民、NPO等で組織される金武ダム水源地域ビジョ

ン推進協議会で検証し、今後の取組みを協議する。

2020年オリンピック開
催に向けた本町の取組み

スポーツ施設等を利用した取組み準備が必要では

町 長
事前トレーニング・
キャンプの誘致に
取組む

外間議員

2020年東京オリンピックの開催に向け本町においてもギンバルのスポーツ施設等を利用した取組み準備が必要では。

町 長
事前トレーニング・

キャンプ候補地として立候補し、誘致に向けて積極的に取組む。

人事評価制度



松田義政 議員

評価者と被評価者の設定は

町長 係長以上を二次評価者、課長を二次評価者とし、被評価者は全職員が対象

松田議員 地方公務員法の改正に伴い、平成28年4月1日から人事評価制度の導入が義務付けられ、全国1721市町村で既に40・2%となっている。制度施行まで6カ月となっているが、人事評価の評価者と被評価者の設定はどのように行う考えか。

仲間一町長 人事評価とは、能力・実績に基づく人事管理の徹底を通じた人材育成、評価の過程における評価者と被評価者とのコミュニケーションを通じ、組織内の意識の共有による業務改善等を目的とした制度である。評価者は、係長以上を一次評価者、課長を二次評価者に設定する予定であり、被評価者は全職員が対象である。

松田議員 制度開始まで6カ月と迫っているが、制度構築の進捗について伺う。

上原浩総務課長 当初予算にシステム開発等の予算を計上している。沖縄県の研修会等にも参加をし、職員への説明会を行っている。今後、人事評価制度の規程を設け、28年度からの実施に向けた取組みを行っている。

松田議員 評価は段階的評価を含め、調整方法をどのように行うか。

町長 被評価者による目標設定および自己評価に、評価者との面談を行う。その後、被評価者の評価、調整者による調整・確認が行われ、評価結果の開示及び面談による指導助言を検討している。

松田議員 評価の方法は、個別評価のみを実施する予定か。

町長 多種多様な業務があり、相対評価では比較できないものと考えており、絶対評価を検討している。

松田議員 被評価者の職務や職位と評価項目の関係は、何を評価するべきか。

評価については能力評価と業績評価があり、どちらも職務上の行動や業務目標の達成度及び達成に向けた取り組み、指導や助言への対応を評価するものと考えている。

北部東海岸の活性化

防衛省などへの要請内容は

町長 スマートインターチェンジの設置などに関する要請をおこなった

松田議員 北部東海岸の開発が提唱されて久しいが、これまでなかなか事業導入が図られない状況である。キャンプ・ハンセンをはじめ、キャンプ・シュワブ、北部訓練場等、東海岸に面する基地機能の整備・強化が進められている。この東海岸を何とかしようと金武町長、宜野座村長、東村長がスクラムを組み、防衛省等へ要請行動を行ったようであるが、その内容を伺う。

町長 沖縄防衛局との意見交換で、金武町からはスマートインターチェンジの設置やギンバル海岸道路整備支援、金武レッド・ビーチを大型客船が寄航できるように改修し、軍民共用での活用などに触れ、防衛局からは基地周辺整備で農林水産業の振興に関する意見もあり、今後の実現に向けて話し合った。また、北部地区の東海岸地域には米軍基地が集中しているために地域振興に支障を来たしており、三町村はそれぞれの地域の要望に沿った振興策の提案を行った。今後も東海岸地域の活性化に向けて、粘り強く関係機関へ要請を続ける。

チを大型客船が寄航できるように改修し、軍民共用での活用などに触れ、防衛局からは基地周辺整備で農林水産業の振興に関する意見もあり、今後の実現に向けて話し合った。また、北部地区の東海岸地域には米軍基地が集中しているために地域振興に支障を来たしており、三町村はそれぞれの地域の要望に沿った振興策の提案を行った。今後も東海岸地域の活性化に向けて、粘り強く関係機関へ要請を続ける。

町道の補修計画



池原政文 議員

今後の補修計画は

町長
地域からの要望等を
総合的に判断し、補
修工事に反映させた
い

池原議員 平成24年度補正

予算において、国の緊急経
済対策補助金を活用し町道
全体の路面の劣化と点検調
査を実施し、舗装維持管理
計画を作成して今後の補修
計画を立てて取組みたいと
のことであったが、調査結
果と今後の計画を伺う。

中間一町長 舗装維持管理

計画書において、舗装の損
傷状況、町道の利用頻度等

をもとに優先順位付けを
行っている。今後の補修計
画については、その結果を
踏まえ、地域からの要望等
を総合的に判断し、補修工
事の進捗に反映させたいと
考える。

池原議員 どういうところ

から優先的に修復を進める
計画か。

宝正徳建設課長 損傷度の

激しい部分や幹線道路、学
校や区事務所などへのアク
セス道路を優先的にする考
えである。

池原議員 流れの悪い側溝

やふたの老朽化などへの対
応も含まれているか。

建設課長 側溝の修復等に

ついては、町内側溝の修復
に関する予算を計上してい
る。

公共事業の実施

関係者等へ事業説明は
十分に行われているか

町長
関係者等に事業内容
等を説明し、理解を
得ながら工事を進め
ている

池原議員 町が実施する施

設等の整備事業の実施にあ
たり、区民や関係者などに
事業の説明は十分に行われ
ているか。また、各区から
の要望事項は、努めて町行
政に映されているか。

町長 公共事業の実施に

あたっては、各区や関係者
等に事業内容やスケジュー
ル等の説明を行い、関係者
の理解を得ながら工事を進
めている。また、各区から
の要望事項については、行
政懇談会等での意見を踏ま
え予算や現場の状況等を考
慮しながら対応している。

池原議員 各区からの要望

事項の確認は、区長会や行

政懇談会のみで十分と考え
るか。

安富祖昇企画課長 現在の

行政懇談会の構成は、町か
らは町長をはじめ、各課長、
区からは区長や行政委員、
各種団体の代表である。か
つてのように区民を対象と
した懇談会の開催も検討し
たい。

池原議員 工事等から派生

する苦情などへは、どのよ
うに対応しているか。

町長 工事等から派生す

る苦情があった場合は、事
業担当課で現場を確認し、
早急に対応を行っている。

池原議員 工事業者への指

導等は行われているか。

企画課長 業者に対しては
粉塵対策等の指導を行って
おり、今後も徹底したい。

海岸整備計画

海水浴場の位置づけか

町長
県との協議を進める

池原議員 ギンバル訓練場

跡地の海岸整備事業の工程
を伺う。また、完成後の管
理や海水浴場としての位置
づけの有無についても合わ
せて伺う。

町長 事業の工程につい

ては、沖縄県が行う海岸整
備として、現在、海岸調査
設計業務と海岸環境調査業
務が実施されている。なお、
ホテル等も隣接することか
ら、完成後は海水浴場とし
ての開設計画が必要であ
り、現在、県とギンバル海
岸（仮称）海岸整備事務連
絡協議会を設置しており、
その中で協議を進める。

温泉の有効活用



大城 政 光 議員

公設民営で運営すべきでは

町 長
温泉施設整備基本
計画により検討を
行う

大城議員 温泉資源につい

ては、町が直接管理運営するよりも、公設民営とし、企業の豊富なノウハウ、経験を活かし、事業全般にわたり効率的な運営計画などで、町内外の方が気軽に利用できる施設とすべきである。温泉権は町の権利とし、維持管理を含む税金投入分を入湯税や使用料を徴収する方法で管理運営すべきと

思うが。

仲間町長 現在、温泉施設整備に関する調査研究、運営形態等を踏まえた計画策定を行うため、関係課を

主体とした金武町温泉施設整備推進チームを発足し、取組みをスタートしている。詳細については、今後の温泉施設整備基本計画により検討したいと考える。

大城議員 公設公営と公設民営について、町長はどちらの考え方を持っているか。

町 長 広く町民の意見を

聴くことが前提であるが、なるべくたくさんの町民がここで働けることが理想である。町が経営し、職員全員が金武町民ということが理想的であると考える。公設民営、公設公営、民設民営の三つの運営方法を議論したいと考えている。

銀原訓練場跡地開発

ビーチ整備の進捗は

町 長
県と協議を進める

大城議員 ギンバル訓練場の跡地開発について、ビーチ整備の進捗状況を伺う。

町 長 沖縄県が行う海岸整備として、現在、海岸調査設計業務と海岸環境調査業務が実施されている。

大城議員 ホテル建設の進捗状況を伺う。

町 長 ホテル等の建設の進捗については、平成26年度に基本設計及び造成工事が完了している。今後、海岸整備の動向に合わせ、ホテル建設の実施設計に入ることを確認している。

大城議員 岩礁破碎について、関係する漁業組合との調整も済んでいるか。

池原均副町長 岩礁破碎が

発生する場合は、金武・宜野座・うるま市石川の各漁業組合の総会議決後に県への手続きが必要になる。当該3漁業組合の組合長と理事の方々に対し、ギンバルの海岸整備事業内容の事前説明を行った。県の実施設計を基に、正式に説明を行い、総会議決をお願いする流れとなる。



ギンバル地域の海岸

防災計画



大城一之 議員

近年の台風災害は

町 長

家屋の全壊、半壊、一部損壊等があった

大城議員

金武町防災対策

本部の概要及び設置の流れ、職員役割について伺う。

仲間町長

災害対策の体

制には、災害準備体制、災害警戒本部、災害対策本部の3段階があり、災害の規模により体制が変わるとともに、動員する職員の数も決めている。職員の役割については、事前の減災対策や町民への自主避難の呼び掛け、情報収集及び避難所

運営、被災情報の収集及び

応急措置に対応している。

近年の台風における災害状況と避難状況を伺う。

町 長

近年の家屋に対す

る被害は、平成24年台風第17号により家屋の全壊2棟、半壊3棟、一部損壊1棟、26年台風第8号では、家屋の一部破損2棟である。農業における被害額は平成24年台風第15号で666万4000円、第16号で1656万7000円、第17号で7736万8000円、25年台風第24号で103万3000円、平成26年台風第8号で1118万6000円である。避難状況は平成24年度に7件の台風で延べ146人、25年度は2件で延べ20人、26年度は1件で延べ31人、27年度は4件で延べ59人が福祉センターなどへ自主避難を行った。

大城議員

金武町防災マッ

プと避難訓練の実施状況に

ついて伺う。

町 長

防災マップは平成

17年度、25年度に作成し、ホームページへの掲載及び全世帯へ配布を行っている。また、今年3月に県から新たな津波浸水想定区域が示されたことから、新しい防災マップの作成に取組んでいる。避難訓練は、平成24年度から毎年11月5日の津波防災の日と県下一斉に避難訓練を行っており、町民をはじめ、各学校や幼稚園、保育所、各福祉施設などが参加している。

大城議員

防災行政無線の

設置計画の進捗を伺う。今年度整備中の中川区全域及び金武区・並里区の一部での整備完了により防災情報システム整備事業が完了する。

農業集落排水事業

今後の課題は

町 長

接続率の向上と適正な下水道施設の利用促進が課題である

大城議員

農業集落排水事

業の進捗状況を伺う。

町 長

平成26年度末現在、

1期地区が96・8%、2期地区が45・9%となっている。今後は、平成28年4月に並里区・金武区の一部の処理人口2790人分の区域を供用開始し、30年に全面供用開始を予定している。

大城議員

下水道事業の接

続状況と今後の課題は。

町 長

宅内配管の接続状

況は、平成26年度末現在で伊芸地区99%、屋嘉地区が32%となっている。今後の課題については宅内配管接続率の向上と適正な下水道施設の利用促進である。今後も引き続き説明会の開催

や広報活動等を通して宅内配管の接続率の向上に取組む。

大城議員

宅内配管の自己

負担について並里区は区民への補助があり、金武区民からは不公平感であるとの声が上がっている。金武区の宅内配管に関する考えを伺う。

安富祖勸産業振興課長

町としては、接続する方の負担が原則であるが、金武区では並里区のような手法も考えてみたいと区長から伺っている。財源となる入会権者会へ協議等がある場合は、根拠資料づくりなど必要に応じて区の支援をしたいと考える。

町営住宅の老朽化



吉野 潤 議員

改修・建替えの検討は

町 長
状況調査を実施し、
改修・建替え等に
向けて取組む

吉野議員 第4次総合計画

において昭和61年以前に建設された町営住宅について、改修・改築等の検討を進める必要があるとされているが、昨年までのような検討をされたか。また、今後策定される第5次総合計画において、どのような対策を考えているか。

中間・町長 昭和59年度に屋嘉団地、61年度に中川団

地を建設し、30年が経過し、

これまで修繕を重ねながら維持管理を行ってきた。老朽化した団地においては、建物の現状調査を実施し、改修・改築・建替えに向け取組む。

吉野議員 コンクリートの

ひび割れ等も確認されるが、建替えの方向で検討すべきではないか。

仲田博住民生活課長 調査

を行い、状況を把握した上で改築か建替えの判断をしたい。28年度に公営住宅の長寿命化計画を策定し、管理を行いたいと考えている。

町 長 中川団地、屋嘉団

地については建替えの必要性を感じている。建替えの場所は、現在の場所にするか、新たな場所を模索するかについては、今後検討したいと考える。

台風による飛砂被害対策

今後の対策は

町 長
引き続き飛砂対策を
講じ、台風後の早急
な対策を県に要請す
る

吉野議員 今年7月に襲来

した台風第9号で、伊芸・屋嘉地区において飛砂被害があったことを両区の区長から伺っていると思うが、

毎年襲来する台風に対する飛砂被害対策について、町の考えを伺う。

町 長 台風第9号の影響

により、伊芸・屋嘉地区において飛砂被害があった。沖縄県北部土木事務所職員、両区長と現場を確認し、沖縄県が砂の撤去を行っている。今後の飛砂被害対策については、海岸の維持管理を含め、引き続き飛砂防止対策を講じ、台風後も早急に対応するよう要請を行う。

吉野議員 伊芸区の西側の

海浜公園のトイレについては、便器が砂で埋まり使用できる状況ではなかった。

壁の一部が花ブロックとなっており、そこから砂が入ってきていることが考えられる。防犯や明り取りの観点からの設計と考えるが、区長からはガラスを埋め込む提案もあるが、対応は可能か。

宝正徳建設課長 現場を確認し、区長と協議をしなが

ら対応を検討したい。

吉野議員 以前、屋嘉の海

岸の背後地の整備に関する質問等もあったが、進捗状況を伺う。

建設課長 北部土木事務所

から、トイレや休憩所などの整備は難しいとの回答を得ている。今後は駐車場の舗装での占用について協議を行いたいと考える。

町道屋嘉80号線整備工事

工事の進捗状況は

町 長
地権者との話し合いを
行っている

吉野議員 町道屋嘉80号線

整備について、工事の進捗状況を伺う。

町 長 平成26年度分の工事は完了し、残りの工事については、現在、地権者と話し合いをしているところである。

吉野議員 交渉の進捗は。

建設課長 地権者1名と、

これまでに7度交渉を重ねている。

吉野議員 地主の親戚や屋

嘉区長などにも相談し、交渉を行う考えはないか。

建設課長 区長や関係者と

話をしながら解決に努める。

雄飛の森



嘉数 義光 議員

雄飛の森敷地を購入する
考えは

町長 今後の管理も含め、
並里区と協議を行う

嘉数議員 雄飛の森の敷地、
約780坪を購入する考え
はないか伺う。

仲間一町長 雄飛の森につ
いては、今後の管理も含め
て並里区と協議を行う。

嘉数議員 當山久三銅像建
立期成会の存在と、その遺
産の法的処置について伺う。

町長 現在、期成会は存
在しておらず、銅像の所有
権がどこに帰属するかは明

確でないが、銅像及びその
周辺の維持管理は町が行っ
ている。

嘉数議員 忠魂碑の取扱い
について伺う。

町長 忠魂碑は昭和11年
に在郷軍人会により建立さ
れたものと思われる資料が
あるが、現在、その所有権
がどこに帰属するかは明確
でない。忠魂碑についても
當山久三銅像と同様に周辺
の維持管理を町が行ってい
る状況である。

嘉数議員 忠魂碑が残って
いるものは、県内で4箇所
だけである。戦争遺産であ
るとの観点から、教育委員
会が取扱いを考えるべきで
はないか。

比嘉貴二教育長 慰霊の碑
と忠魂碑は、建立の目的が
全く違うものと認識してい
る。県内の数箇所に残って
いるようであるが、忠魂碑
が建立された当初の目的に
沿って残すのではなく、将

来に渡って平和を構築する
ために過去の戦争を記憶に
留めるための遺産として残
せるものだと考える。忠魂
碑については、建立の経緯
などについて、町民の中で
まだまだ醸成されていない
ので、この辺も勘案しなが
ら取扱いを検討したい。

嘉数議員 雄飛の森の賃貸
契約については、平成27年
3月に切れたと思うが、更
新はされているか。また、
更新されたのであれば、そ
の内容について伺う。

町長 賃貸借契約につい
ては、その目的が當山紀念
館用地として使用すること
であったが、銅像や忠魂碑
の管理等を考慮し、雄飛の
森一体を使用する内容に改
め、契約を更新している。

インクルーシブ教育

インクルーシブ

教育システムの構築は

教育長 特別支援教育の充実
を図っている

嘉数議員 インクルーシブ
教育システム構築について、
町の方針と障害のある子ど
もの現状、早期支援コー
ディネーターの配置の必要
性について伺う。

教育長 インクルーシブ教
育システムを構築するため
特別支援教育の充実を図っ
ており、具体的な取組みと
して早期からの支援により
きめ細かい対応ができるよ
う、特別な支援を要する児
童・生徒にどのような支援
を行えばいいか各学校にお
いて検討し、支援体制を構
築するため構内委員会を設
置し、個々のニーズに応じ
た支援が行えるよう努めて
いる。また、特別支援学校

に通う生徒と町内学校との
交流や町内小学校、中学校
の特別支援学級との交流や
共同学習を実施している。
さらに、学びの基礎力育成
支援事業において、町内の
公立、私立の保育所(園)、
幼稚園、小学校及び中学校
の学校種間の連携を図ると
ともに、協力体制の強化に
努めている。障害のある子
どもの現状については、町
立小学校・中学校の特別支
援学級に在籍する児童・生
徒は38人、通級指導教室に
通う児童は67人となってお
り、町立幼稚園における障
害のある園児は3人である。

ことば解説

インクルーシブ教育とは…
障害の有無によらず、
誰もが地域の学校で学べ
る教育。

地域医療施設



伊 芸 政 男 議員

開院の時期はいつか

町 長

概ね3カ月後の開院
を予定

伊芸議員

平成27年7月8

日の臨時会において、修正可決された「議案第34号 公の施設の長期かつ独占的な利用について」の議案に関し、開院に向けた手続きの進捗と開院の時期について伺う。

仲間一町長

7月の臨時会

の議決を経て、協定書を締結している。その後、8月に医療法人社団菱秀会から提出された使用許可申請に

基づき、町は使用開始日を9月15日として使用を許可している。現在、開業に向けて広域医療法人の定款変更の手続きを進めているところであり、開院の時期については、許認可等申請及び準備期間として、概ね3カ月後の開院を予定している。

伊芸議員

開院に向けた開設届や定款の変更などの手続きは、同時に進めることはできないか。

宮里安秀基地跡地推進課長

広域医療法人の定款変更をしなければならぬため、同時並行的に進めることはできない。

農業用排水路工事

喜那又原排水路のボックスカルバートは断面を広げて設置すべきでは

町 長

新たな適正断面を確保するボックスカルバートを設置する

伊芸議員

シナマタバル（喜那又原）の排水路工事のため、周辺地主に対する工事説明会が8月21日に開催されたようであるが、既存のボックスカルバートと並行に同じ断面のものを設置すると聞いている。既存のものを取り壊し、新たに断面を広げた構造物を設置すべきと考えるが。

町 長

喜那又原の農業用排水路については、通水量の断面不足や破損に伴い、雨季や台風時に田んぼへの氾濫が生じることから、今年度74mのU字型側溝と約20m余りのボックスカル

バートの改良工事を行うものである。ボックスカルバートの改良については、既設のものを取替えて、新たな適正断面を確保するボックスカルバートを設置する。

安富祖勸産業振興課長

既設のボックスカルバートが現行の通水量約3.6mに対し、必要な断面が7.9mである。その必要な断面を確保したボックスカルバートに取り替える計画である。説明会では並行して同じ断面のものを設置すると説明しているが、農家の要望や施工性や経済性などを再検討し、新たなボックスカルバートを設置することとした。既存のボックスカルバートは、高さ1・25m、幅1.8m、新たに設置するものが、高さ1.5m、幅2.3mのものを設置する。

伊芸議員

周辺には排水路のない田んぼが2筆ある。

土地改良当初から他の田んぼを利用して排水している状況である。対策を講じるべきではないか。

産業振興課長

現場を確認し、適正な排水ができるよう努める。

平成27年第5回(9月)定例会議決附議案件処理結果

件 名	提出者	議決年月日	議決結果
平成27年度金武町一般会計補正予算(第2号)	町 長	27.9.15	修正可決 (全会一致)
一般会計補正予算(第2号)に対する修正案	吉野 潤 外 1 名		原案可決 (全会一致)
平成27年度金武町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	町 長	27.9.15	原案可決 (全会一致)
金武町手数料徴収条例の一部を改正する条例について	町 長	27.9.15	原案可決 (全会一致)
金武町移民の日定める条例の制定について	町 長		総務財政委員会へ付託
平成27年度金武町有線放送電話事業特別会計補正予算(第2号)	町 長	27.9.16	原案可決 (全会一致)
金武町個人情報保護条例の一部を改正する条例について	町 長	27.9.16	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結について(川田原橋補修工事)	町 長	27.9.16	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結について(中川小学校普通教室棟建設工事(建築))	町 長	27.9.16	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結について(中川幼稚園園舎建設工事(建築))	町 長	27.9.16	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結について(並里地区かんがい施設整備工事(2工区))	町 長	27.9.16	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結について(並里地区かんがい施設整備工事(3工区))	町 長	27.9.16	原案可決 (賛成多数)
工事請負契約締結について(並里地区親水広場整備工事)	町 長	27.9.16	原案可決 (賛成多数)
工事請負契約締結についての議決内容の一部変更について(金武町フットボールセンター(仮称)整備事業建設工事(建築・クラブハウス、南便所))	町 長	27.9.16	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結についての議決内容の一部変更について(金武町フットボールセンター(仮称)整備事業建設工事(土木・南側))	町 長	27.9.16	原案可決 (全会一致)
物品の取得について(金武町フットボールセンター(仮称)維持管理備品購入)	町 長	27.9.16	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結について(金武町子育て支援センター(仮称)建設工事(建築))	町 長	27.9.16	原案可決 (全会一致)
金武町議会会議規則の一部を改正する規則	松田義政 外 6 名	27.9.29	可 決 (全会一致)
平成26年度金武町一般会計歳入歳出決算の認定について	町 長	27.9.29	認 定 (全会一致)
平成26年度金武町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	町 長	27.9.29	認 定 (全会一致)
平成26年度金武町有線放送電話事業特別会計歳入歳出決算の認定について	町 長	27.9.29	認 定 (全会一致)
平成26年度金武町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	町 長	27.9.29	認 定 (全会一致)
平成26年度金武町水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	町 長	27.9.29	原案可決 及び認定 (全会一致)
議員派遣に関する決議	松田義政 外 6 名	27.9.29	可 決 (全会一致)

※会議録は町立図書館及び各地区公民館で閲覧できます。

平成27年第6回臨時会(11月16日)

移民の日を定める条例を全会一致で修正可決

平成27年第5回(9月定例会)に提案された「議案第55号 金武町移民の日を定める条例の制定について」を総務財政委員会に付託し、閉会中の継続審査とした。

9月定例会閉会后、総務財政委員会において、副町長及び企画課長からの聴き取りや、委員同士の意見交換等の協議を行った結果、下記のとおり修正とすることと決定した。

11月16日に招集された第6回臨時会にて、委員会審査報告書を提出し、採決の結果、全会一致で修正案を可決した。

(町長が9月定例会に提出した条例案)**(趣旨)**

第1条 移民の父當山久三が、第1回移民をハワイへ送り出してから一世紀世の歳月が過ぎた。夢と希望を抱いて大会を渡り、艱難辛苦を乗り越え海外移民の礎を築いた。現在、ハワイ州をはじめ、北米、フィリピン、ペルー、ブラジル、ボリビア、アルゼンチンなど世界各国で40万人余りのウチナアンチュが活躍している。その先駆者達の功績に敬意を表すとともに、今を生きる私達が、移民発祥の地である金武町民として誇りと、進取の気象、不撓不屈の精神を持つ金武魂を後世まで継承する機会とするため、金武町移民の日を制定する。

(金武町移民の日)

第2条 金武町移民の日は、第1回移民を沖縄からハワイへ送り出した12月5日とする。

(事業等)

第3条 金武町移民の日の属する月内に記念事業等を行う。

(委任)

第4条 この条例の施行に関し必要な事項は、町長が定める。

(議会在11月臨時会で修正可決した内容)**(趣旨)**

第1条 沖縄県における移民の先駆けは金武町である。1899年に第1回ハワイ移民を送り出して以来多くの県系人が海外で活躍している。これは沖縄県移民発祥地としての町民の誇りである。町は未来永劫の発展を期するために金武町移民の日を制定する。

(金武町移民の日)

第2条 金武町移民の日は、第1回移民を沖縄からハワイへ送り出した12月5日とする。

(委任)

第3条 この条例の施行に関し必要な事項は、町長が定める。

修正の理由

原案第1条は、条例制定の趣旨が伝わりにくく、特定の人物を顕彰することを連想させる条文となっているため修正した。また、原案第3条は、記念行事等が移民の日の属する月内に限定されているため弾力的に運用ができるよう削除した。